

競技上の注意事項について

1. 本大会は、平成 31 年度(公財)日本バドミントン協会競技規則並びに大会運営規程に基づき実施します。
2. 試合コートは流し込み方式で行います。試合の進行にご協力をお願いします。タイムテーブルは、あくまでも試合開始予定時刻ですので、進行状況にご留意ください。
3. 電光掲示板に試合番号が表示されます。自分の番号が表示されたら、選手集合所にお集まりください。選手がコートに入る際、コールします。
4. 男女ともAクラスはベスト 16 が決定するまで、Bクラスはベスト8が決定するまでは 15 点 3 ゲーム(延長 21 点まで)、それ以上は正規ルールで行います。Cクラスは、全国大会が減点ルールを採用しているため、すべて 15 点 3 ゲーム(延長 21 点まで)で行います。
5. インターバルは 15 点 3 ゲームの場合、各ゲームの間に 60 秒以内、ゲーム中のインターバルは、すべてのゲームで最初に 8 点を取った時に 60 秒以内で認めます。ファイナルゲームは、最初に 8 点取った時にチェンジエンスを行います。
6. コーチ席に入ることができる者は、日本バドミントン協会公認審判員 3 級以上の有資格者 2 名以内とします。選手の所属チームから要請があった場合は、他のチームの選手のコーチ席に入ることも可とします。
7. 競技中の選手に対してのアドバイスは、正規ルールどおりとしますが、試合の進行の妨げになるようなアドバイスは禁止します。
8. 汗拭き、水分補給などのため、選手がコートを離れる場合は、主審の許可を得なければなりません。
9. コートサイドへ持参する水分補給用の容器は、倒れても中身がこぼれないものを使用してください。
10. 連続して試合を行う場合は、試合終了後 10 分程度の間隔を空けます。
11. 主審・線審(2 人)・得点係の 4 人で試合の進行をします。帯同審判員には昼食を支給します。
12. 今大会は、選手による線審・得点係はありません。主審・線審・得点係は、帯同審判員と公認審判員資格検定会実技試験受講者が務めます。

その他の注意事項について

- ① 競技中の服装は、(公財)日本バドミントン協会の審査合格品とし、背面には「チーム名、氏名」のみを表示してください。ゼッケンは 4 点留めとします。選手はプレー中、上衣をショートパンツ等の中に入れるものとします。プレー中に上衣が出た場合は、そのつど直さずに、インターバルやゲーム終了時に直すものとします。
- ② コーチは、試合にふさわしい服装で臨むこと。なるべく選手と同じような服装とし、運動靴を着用。サンダル・スリッパ・裸足は禁止します。短パンは可とします。
- ③ コーチはコートまたはコート周辺で携帯電話やモバイル機器を利用しないこと。
- ④ 持ち物は、各自で責任を持って管理・保管してください。紛失、破損等の事故があっても主催者は責任を負いません。
- ⑤ 競技中の事故については、主催者は責任を負いません。保険等は各チームで対応ください。
- ⑥ ゴミは原則として持ち帰ってください。
- ⑦ ロビーや通路での練習(素振り・シャトル打)は絶対にしないでください。
- ⑧ 競技中のフラッシュ撮影は、プレーへの妨げとなりますので禁止します。
- ⑨ 選手に、内履き・外履きの区別をはっきりするように指導してください。